

氏名	資格登録番号	業績に対する 寄与割合(%)	所属先(会社名、組織名等) 所属する土壌医の会(※入会している場合)
〇〇〇〇	D16034567	100%	●●県農業総合センター ●●県土壌医の会

※取組み内容を登録者複数名で行った場合は、改行して連名にしてください。

■作物生育改善関係の取組み内容

※赤字は必須項目です。

1. テーマ名(必須): 麵用小麦「◇◇◇◇」の収量低下要因の解明と収量向上技術の開発

2. テーマのカテゴリー(必須):

下記①～⑥に当てはまるものを選んでください(複数選択可)。該当しないものは削除してください。

- ① 土壌診断(化学性、物理性、生物性)や生育診断による作物生育改善等が達成できた成果
- ③ 土壌診断や生育診断を行う上で基準や指針として活用できる成果
- ④ 現地実証調査による成果(排水対策、資材等の効果)

3. 実施期間(必須): 20XX年 X月 ~ 20XX年 X月 (3年間)

4. 取組んだ目的や背景(必須):

「◇◇◇◇」は、実需者からの評価が高く、購入希望数量が生産数量を、大きく上回っている。しかし、単収の増減が激しく、安定供給ができていない。そこで、収量が安定しない原因を解明するとともに、その対策技術を確立することとした。

5. 実施場所や連携協力した機関等の名称(必須):

●●県A市△△△△△△△△△△

6. 取組み内容(必須)

- (1) 現地栽培圃場の収量及び土壌理化学性の実態調査
- (2) 土壌改良資材および堆肥施用による土壌酸性矯正と収量向上技術の実証
- (3) 圃場管理方法の改善による排水性向上技術の実証

7. 主な成果(必須)

- (1) 現地栽培圃場の収量及び土壌理化学性の実態調査

土壌の酸性化により、収量が低下していることが分かった。また、降雨後の土壌水分が高い圃場で、出芽数が低下し、場合によっては収量が低下することが分かった。

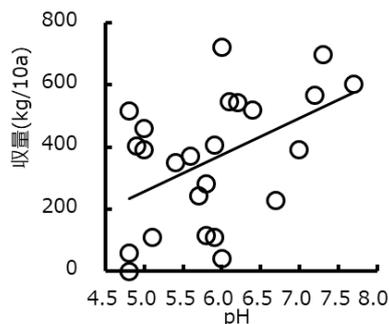
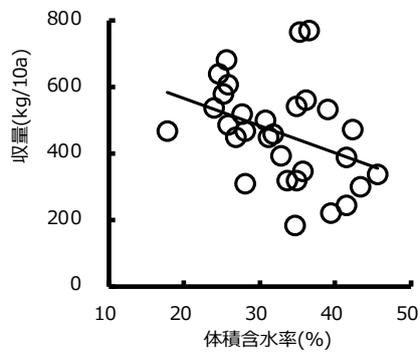


図-1 pHと収量との関係



図-2 酸性障害による生育不良



*ピアソンの積率相関係数(r)で、5%水準で有意。

図-3 体積含水率と収量との関係



図-4 降雨後の停滞水

(2) 土壌改良資材および堆肥施用による土壌酸性矯正と収量向上技術の実証
 苦土石灰 200kg/10a もしくはバーク堆肥 4t/10a 施用により、pH 及び収量が向上した。

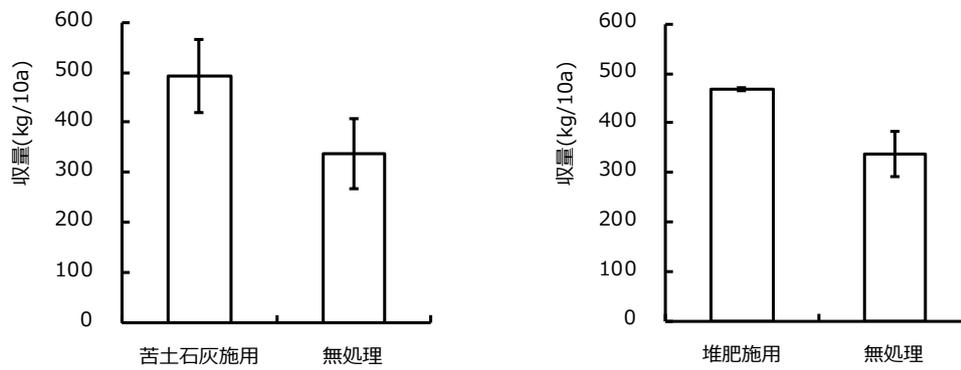


図-5 土壌改良資材および堆肥施用が収量と pH に及ぼす影響

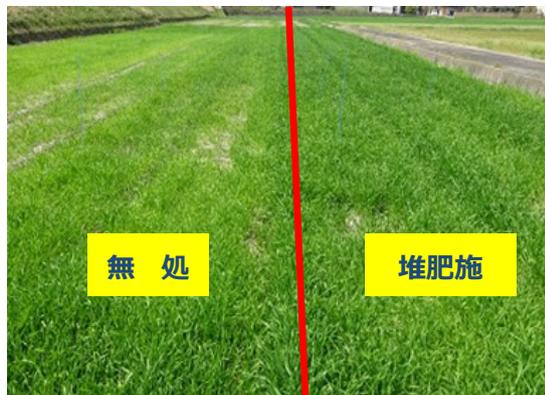


図-6 堆肥施用試験の状況

(3) 圃場管理方法の改善による排水性向上技術の実証 (※他担当が実施)

8. 成果の普及

『小麦「◇◇◇◇」低収改善対策マニュアル』を公表し、普及を図った。(添付資料参照)

(添付資料)

1. 小麦「◇◇◇◇」低収改善対策マニュアル
2. 日本麺用小麦「◇◇◇◇」の生育・収量と土壌理化学性との関係
3. 現地実態調査にみる小麦「◇◇◇◇」の低収要因と改善方向